

株主メモ Shareholder Data

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
公告方法 日本経済新聞
上場金融商品取引所 大阪証券取引所市場第二部
証券コード 7214



〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745 (44) 1911 (代表) FAX. 0745 (44) 1930
<http://www.gmb.jp>



TRUST REPORT

第46期 年次報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

グローバルに進展する モータリゼーションとともに

エンジンの円滑な回転を支えるウォーターポンプやファンクラッチ、
テンショナー&アイドラーベアリング。

ハンドル操作、エンジン駆動力を車輪に確実に伝えるユニバーサルジョイント。

快適な乗り心地を支えるサスペンション……

GMBは、日本をはじめ韓国、中国、タイを拠点に、
ドライバーの信頼に応える高品質な自動車部品を生産しています。

そして、それらは世界中の自動車メーカーを通じて、
世界中のドライバーに提供されています。

生産も販売もグローバルに——それがGMBです。

社訓
Company Motto

和
Harmony

技術革新と新製品開発を通じ、
自動車部品産業のオンリーワン企業として
国際社会に貢献します。

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

GMBマークの刻み込まれた製品を世界へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、第46期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の年次報告書をお届けいたします。

当期の業績について

当期は、新車用部品においては、韓国完成車メーカー系への販売は横這いとなるなかで、欧州や北米の部品メーカー向けの販売が好調に推移したこと、補修用部品市場においては、苦戦する北米市場向けの販売を、欧州、東南アジア、国内向けの販売がカバーしたことなどにより、連結売上高441億円（前期比+5.3%）となりました。素材価格が高止まりするなかでも、海外への生産移管などの合理化や経費削減努力により連結営業利益は29億円（同+11.3%）と採算面も改善することができました。また、連結経常利益は27億円（同+1.1%）、連結当期純利益は12億円（同+21.9%）となり、前期に引き続き増収増益を達成することができました。品目別売上高では、駆動・伝達および操縦装置部品が208億円（同+10.2%）、エンジン部品が107億円（同△9.9%）、ベアリングその他が125億円（同+13.5%）となりました。

次期の見通し

米国経済の減速懸念、さらなる原材料価格の高騰、急激な為替変動など、当社グループをとりまく環境は、厳しいものが見込まれます。

このような環境のなかで、中期経営計画「HEAT2008」（次頁参照）の最終年度として、引き続き海外において積極的な設備投資と製品開発を展開しながら、新車用と補修用部品の両市場における販売強化に取り組む一方で、グループ最適地生産とコスト削減を推し進め、グループ一丸となって中



代表取締役会長
松岡 信夫



代表取締役社長
南北 一雄

期経営計画の総仕上げに取り組む所存であります。以上により、次期の見通しにつきましては、連結売上高430億円（前期比△2.7%）、連結営業利益27億円（同△9.6%）を見込んでおります。

株主還元に対する方針について

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。当期の配当金は、5円増配の年間35円とさせていただきます。また、次期の配当金につきましても、年間35円を予定しております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、今まで以上にコスト競争力を高め、市場ニーズに応える技術・製造開発体制を強化し、さらには、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

中期経営計画 HEAT 2008



平成18年4月より平成21年3月までの3か年の中期経営計画「HEAT2008」も、最終年度となりました。当社グループは、補修用部品を製造販売する拠点とOEM向けの拠点とに二局化しておりますが、各拠点が補修・OEMの両方のニーズに対応してまいります。本中期経営計画期間中において、補修用部品製造拠点のOEM供給への機能アップと、新たな製品への対応が可能となる海外投資を積極化することで売上を拡大すると同時に、生産効率を改善し、さらな

るCR（コスト削減）を実現することで利益率の向上を目指します。計画の2年目も当初目標を大きく上回る順調な結果となりましたが、最終年度の事業環境は、素材価格の高騰や急激な為替変動など当初想定と大きく異なり、厳しい環境が予想されます。そのため、最終年度の業績予想は当初設定した売上高・営業利益の目標を下回る計画となっておりますが、グループの総力を挙げて努力していきたいと考えております。

基本理念

- ① 事業ポートフォリオの最適化
- ② OEM供給体制を整える積極的な海外投資
- ③ 補修用マーケットにおける価格競争力強化
- ④ R&D・品質管理システムの強化

	平成18年度 実績 2006	平成19年度 実績 2007	平成20年度 計画 (当初目標) 2008	
売上高 (百万円)	41,960	44,190	43,000	(46,000)
営業利益 (百万円)	2,682	2,986	2,700	(3,100)
当期純利益 (百万円)	991	1,208	1,200	(1,100)
営業利益率 (%)	6.4	6.8	6.3	(6.7)
E P S (円)	190	231	230	(211)
設備投資 (億円)	34	30	42	—

クオリティこそGMBブランドの証です

基本理念

HIGH QUALITY PRODUCTS
QUICK DELIVERY
COMPETITIVE PRICE
BEST SERVICE

GMBは、4つの基本理念に基づき、製品設計・製造を行っております。機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保証するため、多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。

主な製造部品

ユニバーサルジョイント

GMBのユニバーサルジョイントは、軽量・小型化を実現するとともに、高い強度や優れた耐久性によって、安全、確実な動力伝達を可能としています。

ステアリングジョイント

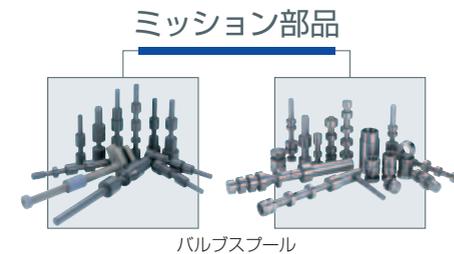
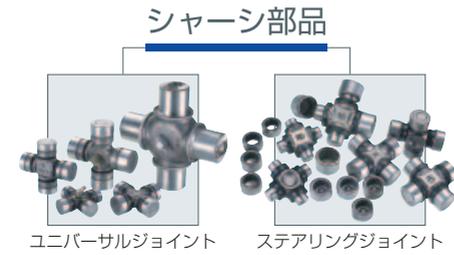
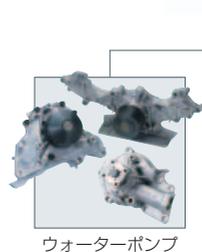
ハンドルの操作性を向上させるために、小型・軽量化が図られています。近年、電動パワーステアリングの普及に伴い、剛性の高い製品が要求されています。

ウォーターポンプ

アルミダイカストやプレスインベラーの採用により、究極の軽量化を達成。さらにベアリング・一体化メカニカルシールを社内生産して低トルク構造と、動力損失の少ない高寿命なウォーターポンプを生産しています。

サスペンションパーツ

GMBはタイヤにおいてサスペンションパーツの素材成形から一貫生産しています。



生産工程

GMBは、素材をダイカスト、プレス、切削、研磨などの工程で成形し、その部材を自社で組み立てて製品としています。各工程が、不良品を出さないように厳しく品質管理を続けることで、低コストで、信頼性の高い自動車部品の生産が可能になるのです。



ダイカスト

ウォーターポンプのボディ&ハウジングを成形します。



プレス

複雑形状を後加工なしに鍛造成形のみで仕上げるネットシェイプを追求します。



切削/研磨

NC加工機群によって鋼材を切削、研磨します。



熱処理

加工後の金属組成を調整します。



組み立て

社内で生産した信頼の部材を組み立てます。



検査

徹底した品質管理で、クレーム・ゼロを目指します。

創業65周年

GMBは1943年3月、大阪市生野区にて、創業者の松岡斗謨により金属加工を営む「松岡精工所」として産声をあげました。その後工場を移転・拡大しながら、いち早く海外へ目を向け今のグローバル体制を構築しました。

創業65周年となる今年は、お客様に感謝の気持ちと伝統を伝える販促活動を展開しております。



中国3番目の工場が本格稼働

2006年に中国山東省に設立した、中国3番目の生産拠点「青島吉明美汽车配件有限公司」は工場建設を終え、最新の生産設備も導入したグループのモデル工場として、本格的に生産活動を開始しました。今後はグループへの部品供給だけでなく、中国国内の部品メーカーとの直接取引を拡大していく計画であります。

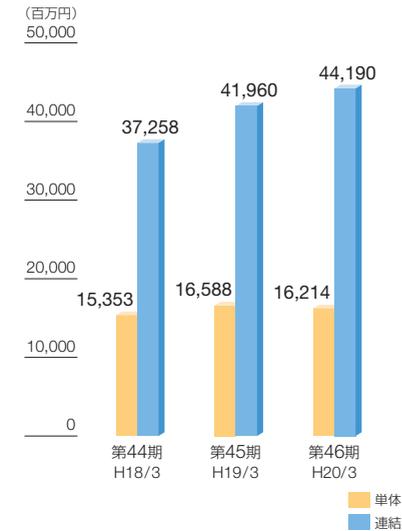


タイ子会社が「ベストカンパニー賞」受賞

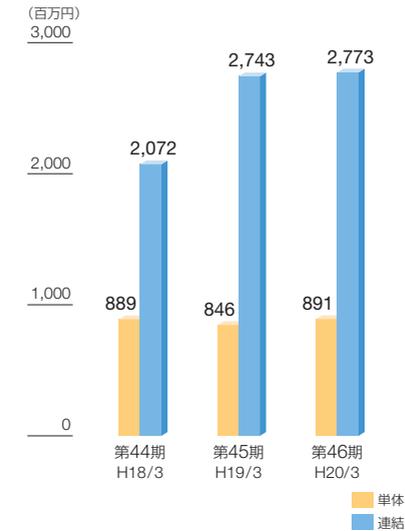
タイにある子会社THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.は、タイの労働省が主催する「ベストカンパニー賞」を受賞しました。これは、タイ国内23万社以上の企業のなかで、特に労働環境が優れた会社が表彰されるもので、GMBは従業員300人未満のカテゴリーで対象企業の1社に選ばれました。グループのなかでは歴史の浅い会社ですが、現地に密着した事業展開が認められたものと喜んでおります。



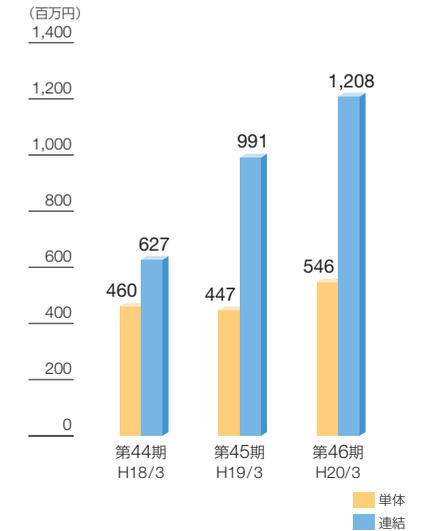
売上高



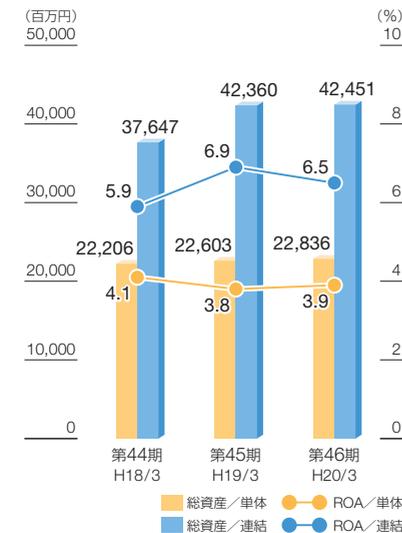
経常利益



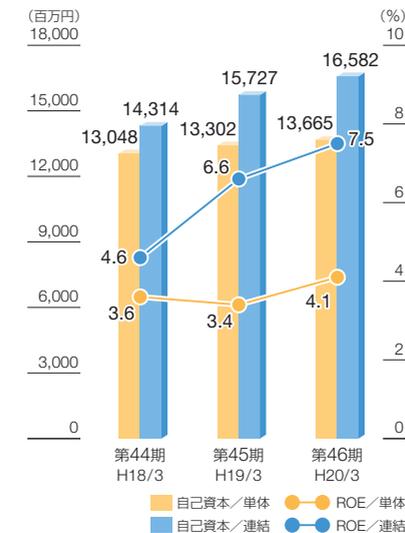
当期純利益



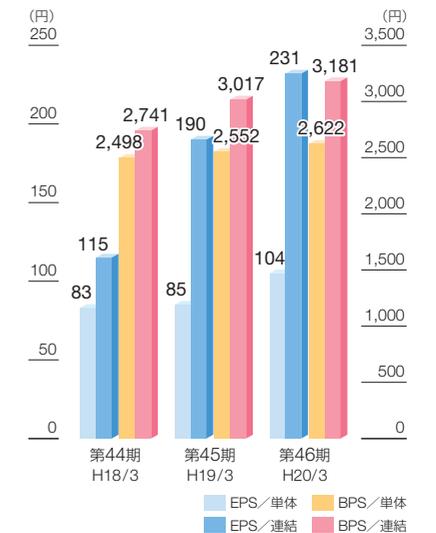
総資産／ROA



自己資本／ROE



EPS／BPS



連結貸借対照表

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
資産の部		
流動資産	21,119	21,124
現金及び預金	4,901	4,911
受取手形及び売掛金	7,882	7,904
たな卸資産	7,656	7,618
繰延税金資産	204	206
その他	642	595
貸倒引当金	△ 166	△ 112
1 固定資産	21,332	21,236
有形固定資産	20,066	19,978
建物及び構築物	4,364	4,458
機械装置及び運搬具	8,154	8,132
土地	6,105	6,209
建設仮勘定	913	559
その他	528	618
無形固定資産	339	391
のれん	82	109
その他	256	281
投資その他の資産	926	866
投資有価証券	152	242
繰延税金資産	357	337
その他	445	346
貸倒引当金	△ 29	△ 60
資産合計	42,451	42,360

POINT 1 設備投資による固定資産の増加

主に海外拠点の生産能力増強を目的とした設備投資は30億円となりました。

POINT 2 売上高の増加

上場以来5期連続の増収を達成することができました。

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
負債の部		
流動負債	15,049	16,039
支払手形及び買掛金	5,508	6,451
短期借入金	2,446	3,382
1年以内返済予定の長期借入金	2,185	2,041
1年以内償還予定の社債	900	30
未払法人税等	580	456
繰延税金負債	719	723
賞与引当金	213	206
役員賞与引当金	—	26
製品保証引当金	284	393
その他	2,211	2,327
固定負債	5,840	6,023
社債	—	900
長期借入金	3,117	2,454
繰延税金負債	—	6
退職給付引当金	1,846	1,931
役員退職慰労引当金	312	287
その他	563	442
負債合計	20,889	22,062
純資産の部		
株主資本	15,525	14,486
資本金	838	838
資本剰余金	988	988
利益剰余金	13,700	12,661
自己株式	△ 1	△ 1
評価・換算差額等	1,057	1,240
その他有価証券評価差額金	25	39
為替換算調整勘定	1,031	1,200
少数株主持分	4,978	4,570
純資産合計	21,561	20,298
負債・純資産合計	42,451	42,360

POINT 3 当期純利益の増加

単体業績が改善したことと税金費用が少額にとどまったことなどにより、経常利益を大きく上回る増益率となりました。

POINT 4 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金が増加したことにより、有利子負債の削減による支出が少額にとどまったことなどによるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
2 売上高	44,190	41,960
売上原価	35,503	33,487
売上総利益	8,686	8,472
販売費及び一般管理費	5,700	5,789
営業利益	2,986	2,682
営業外収益	173	399
営業外費用	386	339
経常利益	2,773	2,743
特別利益	64	12
特別損失	45	86
税金等調整前当期純利益	2,792	2,669
法人税、住民税及び事業税	852	700
法人税等調整額	30	317
少数株主利益	700	660
3 当期純利益	1,208	991

連結株主資本等変動計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日 残高	838	988	12,661	△ 1	14,486	39	1,200	1,240	4,570	20,298
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 169		△ 169					△ 169
当期純利益			1,208		1,208					1,208
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 13	△ 169	△ 183	408	224
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,038	—	1,038	△ 13	△ 169	△ 183	408	1,263
平成20年3月31日 残高	838	988	13,700	△ 1	15,525	25	1,031	1,057	4,978	21,561

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,296	4,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,739	△ 3,652
4 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 377	△ 1,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	86
現金及び現金同等物の増減額	175	323
現金及び現金同等物の期首残高	3,156	2,833
現金及び現金同等物の期末残高	3,332	3,156

貸借対照表

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
資産の部		
流動資産	10,048	9,370
現金及び預金	3,649	2,931
受取手形及び売掛金	3,511	3,589
たな卸資産	2,203	2,143
繰延税金資産	111	140
その他	573	565
固定資産	12,787	13,232
有形固定資産	7,148	7,434
建物及び構築物	1,256	1,318
機械装置及び運搬具	1,557	1,726
土地	3,680	3,680
建設仮勘定	382	386
その他	272	321
無形固定資産	101	124
投資その他の資産	5,536	5,674
投資有価証券	135	158
関係会社株式及び出資金	4,549	4,420
繰延税金資産	178	172
その他	680	940
貸倒引当金	△ 8	△ 17
資産合計	22,836	22,603

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
負債の部		
流動負債	5,911	5,940
支払手形及び買掛金	788	916
短期借入金	1,224	1,960
1年以内返済予定の長期借入金	2,070	1,896
1年以内償還予定の社債	900	30
未払法人税等	105	282
賞与引当金	213	206
役員賞与引当金	—	26
製品保証引当金	1	11
その他	608	608
固定負債	3,258	3,360
社債	—	900
長期借入金	2,606	1,830
退職給付引当金	185	151
役員退職慰労引当金	312	287
その他	154	191
負債合計	9,170	9,301
純資産の部		
株主資本	13,639	13,262
資本金	838	838
資本剰余金	988	988
利益剰余金	11,814	11,437
自己株式	△ 1	△ 1
評価・換算差額等	25	39
その他有価証券評価差額金	25	39
純資産合計	13,665	13,302
負債・純資産合計	22,836	22,603

損益計算書

科目	当期	前期
	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
売上高	16,214	16,588
売上原価	13,745	14,360
売上総利益	2,468	2,227
販売費及び一般管理費	1,592	1,616
営業利益	876	611
営業外収益	311	343
営業外費用	296	108
経常利益	891	846
特別利益	4	1
特別損失	14	74
税引前当期純利益	881	773
法人税、住民税及び事業税	303	392
法人税等調整額	31	△ 65
当期純利益	546	447

(単位：百万円)

株主資本等変動計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金 合計				
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)					
平成19年3月31日 残高	838	988	24	11,412	11,437	△ 1	13,262	39	13,302
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				△ 169	△ 169		△ 169		△ 169
当期純利益				546	546		546		546
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								△ 13	△ 13
事業年度中の変動額合計				377	377		377	△ 13	363
平成20年3月31日 残高	838	988	24	11,789	11,814	△ 1	13,639	25	13,665

(注) その他利益剰余金の内訳の記載は省略しております。

青島吉明美机械制造有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

青島吉明美汽车配件有限公司



GMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にバルブスプールの製造をしております。

山東吉明美工業有限公司



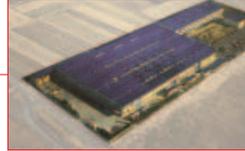
当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にウォーターポンプ・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.



当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品及び製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

当社 (GMB株式会社)



自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売及び各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。

八尾工場



GMB NORTH AMERICA INC.
カリフォルニア倉庫



GMB NORTH AMERICA INC.
ニュージャージー本社



当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。

GMB KOREA CORP.
第一工場



第二工場



自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるバルブスプール・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカー及びその系列会社への販売が中心であります。

- 商号 GMB株式会社
- 会社設立 昭和37年5月
- 資本金 838,598,000円
- 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
代表取締役社長 南北一雄
- 売上高 連結 44,190百万円
単体 16,214百万円
- 従業員数 連結 2,510名 単体 469名
- 事業所 本社・奈良工場
〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. (0745) 44-1911 (代)
FAX. (0745) 44-1930
Web Site http://www.gmb.jp

八尾工場
〒581-0814 大阪府八尾市楠根町2丁目58番地
TEL. (072) 997-1521 (代)
FAX. (072) 997-2481
- グループ会社 GMB KOREA CORP. (韓国 慶尚南道昌原市)
GMB NORTH AMERICA INC. (アメリカ ニュージャージー州)
山東吉明美工業有限公司 (中国 山東省肥城市)
青島吉明美机械制造有限公司 (中国 山東省萊西市)
THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD. (タイ プラチンブリ県)
青島吉明美汽车配件有限公司 (中国 山東省即墨市)
- 役員 代表取締役会長 松岡信夫
代表取締役社長 南北一雄
取締役副社長 水谷晃
専務取締役 阪口有一
常務取締役 森勝
常務取締役 金本現一
常務取締役 小菅清喜
常勤監査役 安藤政喜
社外監査役 平野邦男
社外監査役 浜本章

- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,212,440株
- 株主数 2,070名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
松岡信夫	1,096,775 (株)	21.0 (%)
松岡登志夫	700,350	13.4
松岡光子	416,375	8.0
GMB従業員持株会	321,770	6.2
松岡百合子	320,625	6.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	256,500	4.9
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	197,200	3.8
松岡弘枝	122,500	2.4
金本順子	98,750	1.9
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505025	88,100	1.7

(注) 出資比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況

